

愛知県内で活用できる ロボット活用・生産性向上の支援策



愛知県経済産業局
産業振興課ロボット産業グループ

本資料について

愛知県内で活用可能な、国・自治体・支援機関のロボット活用・生産性向上の支援策をまとめました。

各支援策についてのお問い合わせは、問合せ先までお願いいたします。

目次

- ・愛知県
 - 産業振興課・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 ページ
 - 高齢福祉課・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 ページ
- ・経済産業省・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 ページ
- ・中小企業基盤整備機構・・・・・・・・・・・・ 8 ページ
- ・あいち産業振興機構・・・・・・・・・・・・ 10 ページ
- ・名古屋産業振興公社・・・・・・・・・・・・ 11 ページ

ロボット未活用領域導入検証補助金

製造
物流

医療
介護

空モビ

サービス

愛知県

ロボットの活用が進まない用途におけるロボット導入を促進するため、導入に先立つ事前検証（業務分析、技術・運用面の課題検証、事業化可能性調査 等）に要する費用の一部を補助

✓ 活用例：食品製造業における産業用ロボットの活用、介護ロボットの活用
インフラ点検業務におけるドローンの活用、自動配送ロボットの活用

※2025年度の受付は終了しました

◆対象者

・「あいちロボット産業クラスター推進協議会」に加入する企業、大学、研究機関、その他団体

◆補助額

・500万円以下（中小企業2/3以内、大企業他1/2以内）

◆スケジュール

・2025年3/24～6/13 公募期間
・7月下旬 交付決定

◆WEBページ

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/robohojo2025.html>

問合せ先

愛知県経済産業局産業部
産業振興課 ロボット産業グループ
TEL：052-954-6352
MAIL：sangyoshinko@pref.aichi.lg.jp

2025年度 ロボット未活用領域 導入検証補助金

ロボット導入の前段階として、事前検証に要する費用を補助します。
明らかにされた効果や立証された事業モデルを横展開し、本県のロボット普及を後押しします。

公募期間 3月24日(月)～6月13日(金)

補助率

中小企業等：2/3以内
大企業他：1/2以内

補助
限度額

500万円以下

対象分野

(写真はイメージです)



製造・物流

医療・介護

空モビリティ

サービスロボット

対象要件

補助対象者

「あいちロボット産業クラスター推進協議会」に加入している中小企業等、大企業、大学、研究機関、その他団体
(ロボットの提供側・利用側※1のいずれも補助対象者になりますが、双方が参画する体制を組む必要があります。)

対象経費

- (1)ロボットの関連機器の購入費用
 - (2)ロボット本体、関連機器等のレンタル・リース費用
 - (3)補助事業に従事する者の直接作業時間に対する人件費、旅費
 - (4)専門家への謝金、旅費
 - (5)委託及び外注に要する経費
 - (6)諸経費(消耗品、通信運搬費、施設利用料)
- ※ロボット本体の購入に係る経費は対象となりません。

※1 提供側：ロボットメーカー、ロボットシステムインテグレーター、ロボットサービス提供者等
利用側：ロボットの提供側が製造・構築・販売する機器又は提供するサービスを利用する者

ロボットを「作り」「使う」
世界的な先進地へ



対象事業

下記の分野のうち、ロボット未活用領域(用途)において実施する事前検証※2
(業務分析、業務効率化検証、業務のロボット化・自動化の検討、周辺設備や機器との連携検証、技術面・運用面の課題検証、費用対効果検証、事業化可能性調査など)

分野	未活用領域(例)
製造・物流	食品製造業における産業用ロボット等の活用や、ピッキング・搬送ロボットの活用による物流の自動化
医療・介護	介護ロボット(移動・移乗・排泄支援、見守り、コミュニケーション)やリハビリ支援ロボットの活用
空モビリティ活用	荷物搬送やインフラ点検業務におけるドローンの活用
業務用サービス ロボット活用	自動配送ロボット、案内・コミュニケーション・警備ロボットの活用

※2 事前検証の例

- ・ユーザーへの導入の前段階として必要な技術検証、周辺設備との連携、固有の課題検証
- ・介護施設等の協力の下、機器を試用し、メーカーや大学等により、業務効率や施設入居者への効果を検証
- ・具体的な地域課題やニーズに基づいた一定期間のトライアル利用による技術面・運用面の課題検証

応募書類	詳しくはこちら！ 応募書類の様式もWebページからダウンロードできます。 https://www.pref.aichi.jp/press-release/robohojo2025.html	
応募書類 提出先	あいち電子申請・届出システムから提出してください。 https://ttzk.graffier.jp/pref-aichi/smart-apply/apply-procedure-alias/robohojo2025	
公募説明 (説明動画の配信)	説明動画の視聴を希望する方は、以下により、電子メールで申し込みください。 ・メールの見出し：「ロボット未活用領域導入検証補助金」 ・本文中に次の1～3を記載 1. 貴社・団体名 2. 視察者氏名、 3. 連絡先(電話番号、メールアドレス(視聴用URLを送付するアドレス)) ・申込先：下記「問合せ先」のメールアドレス	
あいちロボット 産業クラスター 推進協議会	下記Webページから加入申込みいただけます。 https://robot.pref.aichi.jp/join/	
2024年度 採択案件	下記Webページからご確認いただけます。 https://www.pref.aichi.jp/press-release/robohojo2024adoption.html	

▶補助事業スケジュール

2025年	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026年	1月	2月	3月	4月	5月
	公募(～6/13)				交付決定											補助金支払

※事前審査書類を提出することにより、交付決定前の事業着手が可能です。

【問合せ先】愛知県経済産業局産業部産業振興課次世代産業室※ ロボット産業グループ
※組織改正に伴い、この補助金は4月より、「産業振興課 次世代産業室」から「産業振興課」に移管します。
電 話：052-954-6352(ダイヤルイン)
E-mail: robotshien(at)pref.aichi.lg.jp
※(at)は@に置き換えてください。

産業用ロボットを用いた自動化に精通したアドバイザーが中小企業等や支援機関から受けた相談に対して、ロボット導入検討へのアドバイス、ロボットSIerとのマッチング支援等を実施

✓ 活用例：中小企業等：ロボット導入検討の進め方のアドバイス・課題解決のためのマッチング支援
支援機関：ロボット導入に関する相談への助言・企業との面談や訪問への同席

◆対象者

・愛知県内に事業所のある企業、支援機関・金融機関等の方

◆受付期間

・平日9:00～17:00
2026年3月中旬まで

◆申込フォーム

<https://jarsia.jp/aichi-soudan/moushikomi.php>

◆詳細WEBページ

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/2025sanrobosoudan-kenshu.html>



問合せ先

愛知県経済産業局産業部
産業振興課 ロボット産業グループ
TEL:052-954-6352
MAIL:sangyoshinko@pref.aichi.lg.jp

令和7年度愛知県産業用ロボット活用促進事業

愛知県

ロボット導入の困った...を解決

産業用ロボット活用相談窓口

企業や支援機関の皆様が抱える「自動化」「省人化」の悩み・疑問に産業用ロボットを用いた自動化のプロがアドバイスいたします。お気軽にご相談ください。

- 人手不足が深刻で、ロボットを導入したい！何をすべきだろう？
- ロボットを導入する際に気を付けることを知りたい
- ロボット導入の相談を受けたので、ロボット専門家を紹介したい

中小企業の皆様・ロボット導入の相談を受けた支援機関・金融機関の方も対象です！

A社

我々企業にもロボット導入への意欲が生まれてきました。食料生産の自動化を多く聞いて興味を持ちました。もっと早く相談しておけば良かったです。

B社

数十年前にロボットを導入していましたが、現状の技術がどのようなレベルに進化しているのか、現状課題が明らかになりました。

愛知県産業用ロボット活用促進事業アドバイザー
永井 伸幸
エヌ・シー・エス株式会社 代表取締役
2025年より、愛知県産業用ロボット活用促進事業のアドバイザーとして、中小企業・支援機関・金融機関の皆様に対して、ロボット導入に関する相談やマッチング支援等を実施いたします。

中小企業の皆様へのサービス紹介

相談者の検討段階に応じたアドバイスや支援を実施します。

- ロボット導入検討の進め方のアドバイス**
ロボット導入は通常の機械導入と異なり成功させるためのいくつかのポイントが存在します。ロボット導入を成功させるための検討手順をアドバイスします。
- 課題解決のためのマッチング支援**
相談内容に応じ、ロボット製造企業（ロボットSIer）をはじめ、ロボット導入の検討段階に応じて相談しやすい企業・専門家とマッチングします。
- 活用可能な行政施策の紹介**
相談内容に応じ、ロボット導入やDXなどの国や県の補助金やセミナーなどの支援策をご紹介します。

支援機関の皆様へのサービス紹介

- ロボット導入に関する相談への助言**
ロボット導入に関する相談に関して、経営的・技術的両面からアドバイスします。
- 企業との面談や訪問への同席**
必要に応じ、相談企業との面談や訪問へ同席し、企業の現場実態や課題改善についてアドバイスします。
- 相談内容によりSIer企業の紹介**
ロボット導入段階まで至っている相談に関しては、適切なSIer企業をご紹介します。

ご利用の流れ

- 相談申込ページから相談内容を登録
- 相談窓口スタッフよりご連絡、日程調整
- アドバイザーによる対応（WEBミーティング・訪問等）

ご利用条件

- 愛知県内に事業所のある企業、支援機関・金融機関等の方はどなたでも無料でご利用いただけます。
- 相談力の向上のため、窓口ご利用の資格にはフォローアップ制度へのご協力をお願いします。

お申込方法

- 下記の相談申込ページよりお申込みください。
<https://jarsia.jp/aichi-soudan/moushikomi.php>
- 相談窓口の最新情報は下記特設サイトをご覧ください。
<https://jarsia.jp/aichi-soudan/>

お問合せ先

愛知県産業用ロボット活用相談窓口 愛知 高木 遥矢 aichi-soudan@jarsia.jp ☎03-6453-0131
SIS 一般社団法人日本ロボットシステムインテグレーション協会 愛知支部 平日9:00～17:00（2026年3月中旬まで、年末年始と祝日は除く）

中小企業における産業用ロボットの活用を支援するため、ロボットを効果的に活用している中小企業経営者の講演や活用現場の見学、ロボット導入成功のポイントの講義等を実施

<2025年度開催分>

◆対象者

・ロボットの導入を検討している中小企業の経営者、生産技術や設備の担当者

・ロボットの導入を検討している中小企業へサポートやアドバイスをする支援機関、金融機関の担当者

など

◆参加料

無料

◆募集方法

開催決定次第、下記HPにて募集のお知らせをします。

<https://robot.pref.aichi.jp/>

○7月24日開催
ウインクあいち



ここから始めよう 無料 個別相談あり

ロボット導入セミナー

実際のロボットや自動化機器を見ながら、ロボットに関する「？」を解決しませんか!!

「ロボットFA関連商品説明会」会場にてセミナーを実施します。実際のロボットや自動化機器を講師による解説付きで見学することができます。

対象者：ロボットの導入を検討している中小企業の経営者、生産技術や設備の担当者

日時：2025年7月24日(木) 10:00-12:00 (個別相談会) 13:00-14:00 (要予約)

場所：ウインクあいち 8階展示場 801 名古屋市中村区名駅4-4-38

セミナーの詳細や申込方法などは裏面をご覧ください。

○8月29日開催
ウインクあいち



ここから始めよう 無料

経営者向け ロボット導入セミナー

ロボット、IoT、エネルギー管理を積極的に取り入れている工場を見学し、ロボットの導入や現場改善を考えてみませんか?

対象者：ロボットの導入を検討している中小企業の経営者、生産技術や設備の担当者

日時：2025年8月29日(金) 13:30-16:00

場所：ウインクあいち 8階展示場 801 名古屋市中村区名駅4-4-38

セミナーの詳細や申込方法などは裏面をご覧ください。

○10月14日開催
岡崎商工会議所



ここから始めよう 無料

ロボット導入セミナー

見て聞いて、ロボットに関する「？」を解決しませんか!! セミナー会場内でロボットハンドの実物を見ることができます。

対象者：ロボットの導入を検討している中小企業の経営者、生産技術や設備の担当者

日時：2025年10月14日(火) 13:30-15:30 (セミナー) 15:30-16:30 (個別相談会)

場所：岡崎商工会議所 5階 特別研修室 岡崎市内電線1-2

研修会の詳細や申込方法などは裏面をご覧ください。

問合せ先

愛知県 経済産業局 産業部 産業振興課 ロボット産業グループ
TEL:052-954-6352
MAIL:sangyoshinko@pref.aichi.lg.jp

※2025年度については、全6回（過去3回含む）程度の開催を予定しております。

国立長寿医療研究センターと連携し、サービスロボットの開発・実用化を目指すモノづくり企業に対する相談対応や介護施設等とのマッチング支援を行うとともに、施設関係者の見学を実施
 ✓ 支援内容：県内企業のロボット展示（16機種）、介護施設への出張デモ、介護施設や企業のマッチング支援、企業のロボット開発に関する相談支援

◆利用方法

・事前予約制

下記問合せ先の電話又はメールで
相談内容について連絡

◆設置場所

・大府市森岡町7-430（国立長寿医療研究センター内）

◆WEBページ

<https://robot.pref.aichi.jp/practical-implementation/>

問合せ先

あいちサービスロボット実用化支援センター

TEL：0562-47-2020

MAIL：

roboshien@pref.aichi.lg.jp

あいちサービスロボット 実用化支援センター

愛知県は、国立長寿医療研究センター内に「あいちサービスロボット実用化支援センター」を設置し、医療や介護をはじめとするサービスロボットの実用化や普及の促進に取り組んでいます。

1 サービスロボットの開発・実用化を目指すモノづくり企業に対し、課題解決のための相談対応や医療・介護施設や企業・大学とのマッチング支援を行っています。

2 医療・介護等の関係者にサービスロボットについて知っていただくため、展示コーナーの見学を受け付けています。

取組内容

- 共同開発企業を紹介してほしい
- 県や市の産業について知りたい
- ロボット導入の補助金について知りたい
- サービスロボットを試してみたい

相談・マッチング支援（事前予約制）

サービスロボットの国際安全規格やリスクアセスメントについて知りたい

開発したサービスロボットを医療機関や介護施設で試したい、販売を聞きたい

ご相談や見学のご希望など、まずはお気軽にご連絡ください。

内容に応じて、専門家を紹介、派遣することも可能です！

事前予約制です。お気軽にご相談ください。まずはお電話又はメールでご連絡ください。見学のご予約も承ります。

電話・FAX 0562-47-2020 平日 9:00～12:00 / 13:00～17:00
メール robotshien@pref.aichi.lg.jp

STEP1
相談までの流れ

STEP2
センターに連絡（電話 or メール）

STEP3
相談シートをセンターに送付

STEP4
相談内容の確認

STEP5
日程調整・相談実施

ロボット展示

ロボットの説明やデモンストレーション（一部有料）を行っています。

- 最新の展示情報や展示ロボットの概要は、当センターのWebページをご確認ください。
- サービスロボットの展示をご希望の方は、当センターのWebページをご確認ください。

あいちサービスロボット実用化支援センター（愛知県経済産業局 産業部 産業振興課 次世代産業室管内）

〒474-8511 愛知県大府市森岡町7-430（国立長寿医療研究センター内）

TEL/FAX 0562-47-2020（ダイヤルイン）

URL <https://www.pref.aichi.jp/sangyoshinko/jisedai/robot/contact.html>

展示ロボット一覧

（2022年9月現在）

分類	機器名称	開発企業
移動支援	パワーアシストスーツ J-PAS fleairy	(株) ジェイテクト
	移乗サポートロボット Hug L1-01	(株) FUJII
	床走行式介護リフト Y6 Li-PINK	(株) モリト
移動支援	免荷式リフト POPO	(株) モリト
	自動走行歩行車 ロボスニール OVER	リョーエイ (株)
排泄支援	自動尿器 Behome スマート集尿器	朝日産業 (株)
	水洗式ポータブルトイレ 流せるポータくん 3 号	(株) アム
	水洗式ポータブルトイレ キューレット	アロン化成 (株)
	Aiserv8 排泄検知システム	新東工業 (株)
見守り支援	離床センサー「サポート」機能付ベッド	シーホネクス (株)
	睡眠見守りシステム みまもりーふ	テクノホライゾン (株)
	高齢者見守りシステム 見守りライフ	トーテックアメニティ (株)
	自動検知支援ベッド FB-640A	フランスベッド (株)
	リアルタイム見守りセンサー M-station	(株) メイク
コミュニケーション	癒やしロボット スマイビ S	(株) 東郷製作所
	介護ふれあいロボットシステム HIMBOT	(株) ヒミカ

医療・介護施設の皆様

出張デモンストレーション（一部有料）が承ります！

企業の皆様

展示ロボットを募集しています！

最新の展示情報や
展示募集案内はこちら

アクセス

JR名古屋駅から

- JR 東海線（上り）大府駅下車

JR 大府駅（西口）から

- 知多バス（大府（循環）線）「長寿医療研究センター」下車
- タクシー 長寿医療研究センターまで約 8 分

JR 武豊線 緒川駅（東口）から

- 東浦町運行バス（し長寿線）「長寿医療研究センター」下車
- タクシー 長寿医療研究センターまで約 10 分

介護・リハビリ支援ロボットの開発側と利用側の双方に対応する窓口を設置。
窓口では、介護やリハビリテーション医療に関する高い専門性と豊富なノウハウを有する専任の
コーディネータによる課題解決支援により、効果的な活用を支援。

◆受付期間

・平日9:30～17:30
2026年3月中旬まで

◆利用方法

メール申込後、コーディネータとの面談
・ヒアリングを設定

MAIL :

cent-rsh@fujita-hu.ac.jp

◆WEBページ

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/kaigorihabili-madoguti2025.html>

問合せ先

愛知県経済産業局産業部
産業振興課 ロボット産業グループ
TEL : 052-954-6352
MAIL : sangyoshinko@pref.aichi.lg.jp

藤田医科大学ロボティクスマートホーム・
活動支援機器研究実証センター
Research Center for Robotic Smart Home & Activity Assistive Technology

介護・リハビリ支援ロボット 相談窓口のご案内

国内人口の高齢化に伴い、健康長寿の延伸や介護を支援する各種機器への需要が益々高まっています。藤田医科大学では、愛知県からの委託により、「介護・リハビリ支援ロボット相談窓口」を開設し、開発企業および導入を検討する介護・医療施設等に対してロボット活用に関する支援を行います。



▲ 詳細はこちら

窓口受付時間

平日の午前9時30分から午後5時30分まで（2026年3月中旬まで、年末年始と祝日除く）

窓口設置場所

藤田医科大学ロボティクスマートホーム・活動支援機器研究実証センター
（愛知県豊明市吉掛町田楽ケ丘1-98 藤田医科大学病院内）

相談・支援対応者

藤田医科大学
教授 大高 洋平（機器コンセプト評価等）
教授 田辺 茂雄（技術アドバイス等）
教授 平野 哲（臨床アドバイス等）
准教授 小山総市朗（現場試用支援等）
講師 清野 溪（マッチング市場性評価等）
その他 藤田医科大学リハビリテーション部門の理学療法士・作業療法士など



相談料

無 料

相談方法

電子メールで問合せ受付後、コーディネータとの面談・ヒアリングを設定します。
（電子メールアドレス） cent-rsh@fujita-hu.ac.jp （電話番号） 0562-93-9720



学校法人藤田学園 藤田医科大学



藤田医科大学リハビリテーション部門

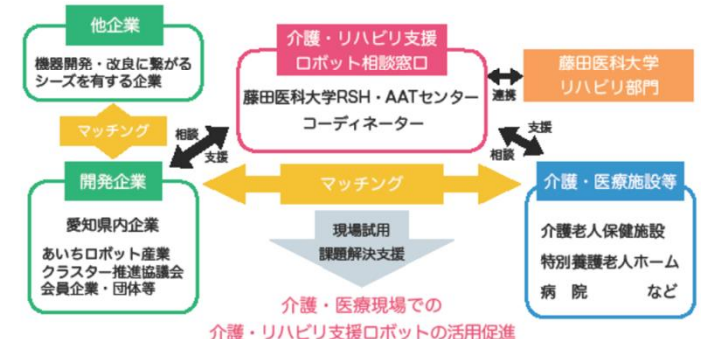
藤田医科大学ロボティクスマートホーム・
活動支援機器研究実証センター
Research Center for Robotic Smart Home & Activity Assistive Technology

相談内容の例

- 介護・医療現場等の解決すべき課題、ニーズについての情報提供
- 関連機器の市場動向、既存品や競合製品についての情報提供
- 企業の機器開発コンセプトや試作品に対するアドバイス
- 開発機器の試験や実用化に関するアドバイス
- 開発中又は製品化されている機器および企業シーズについての情報提供
- 機器の導入で期待される効果に関する情報提供
- 機器の導入及び現場での活用に関するアドバイス

支援内容の例

- 開発企業と機器導入・活用の意向がある介護・医療施設等のマッチング支援
- 開発企業と機器開発・改良に繋がるシーズを有する他企業のマッチング支援
- 実際の現場での機器試用並びに運用支援
- 現場導入・活用に向けた課題解決支援



これまでの本学と企業様との共同開発



介護現場における生産性向上の取組を推進するため、生産性向上の取組に関する各種相談や支援を行うワンストップ型の総合相談窓口を開設

✓ 支援内容：各種相談への対応（相談窓口の設置）、生産性向上に向けた研修会の開催、介護ロボット・ICT機器の展示会の開催、介護ロボット・ICT機器の試用貸出等

◆相談方法・受付時間

- ・下記問合せ先へまずはお電話ください。
- ・午前9時から午後5時まで
（土日祝・年末年始は除く）

◆対象者

- ・愛知県内の介護サービス事業所等

◆設置場所

- ・名古屋市中村区名駅南2-14-19
住友生命名古屋ビル14階
（介護労働安定センター愛知支部内）

◆WEBページ

<https://kaigoseisansei.pref.aichi.jp/>

問合せ先

あいち介護生産性向上総合相談センター

TEL：052-526-8609

FAX：052-565-9272



あいち介護生産性向上 総合相談センター



介護の価値を高めることについて考えてみましょう。

介護業界の重要なテーマである「介護サービスの質の維持・向上」「人材の定着・確保」に向けた生産性の向上・業務改善等の諸課題への幅広い支援をさせていただきます。是非ともご活用ください。

あいち介護生産性向上総合相談センターのホームページでは、これらの内容に加えて、各種情報をとりまとめています。
<https://www.kaigo-center.or.jp/shibu/aichi/contents/2.html>

【問合せ先】 あいち介護生産性向上総合相談センター
〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19 住友生命名古屋ビル14階 介護労働安定センター愛知支部内 TEL 052-526-8609 FAX 052-565-9272

あいち介護生産性向上総合相談センター （ワンストップ窓口）の業務内容



各種相談への対応

生産性向上・業務改善に関する各種相談に対応させていただきます。
必要に応じて専門家・関係機関を交えた対応をいたします。

相談費用 **無料** 相談方法 **無料** まずはお電話ください
TEL.052-526-8609
（9:00～17:00（土日祝・年末年始は除く））

生産性向上に向けた研修会 介護ロボット・ICT機器の展示会

業務改善ならびにそこでの大きな支援ツールとなる介護ロボット・ICT機器の活用についての研修です。
あわせて代表的な介護ロボットを展示いたします。



生産性向上の取組に関する研修動画

介護ロボット・ICT機器等の介護テクノロジーの導入にあたっての注意事項など、介護現場における生産性向上の取組に関する基礎的な内容を解説した動画をホームページで公開いたします。（令和7年6月上旬公開予定）

介護ロボット・ICT機器の試用貸出

介護ロボットやICT機器導入に向け、使い勝手や効用について事前に確認したい場合にご利用いただけます。



あいち介護生産性向上総合相談センターのホームページに、貸出機器ならびに貸出ルール等を記載いたします。
<https://www.kaigo-center.or.jp/shibu/aichi/contents/2.html>

【問合せ先】 あいち介護生産性向上総合相談センター
〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19 住友生命名古屋ビル14階 介護労働安定センター愛知支部内 TEL 052-526-8609 FAX 052-565-9272

中小企業省力化投資補助金（カタログ型）

製造
物流

医療
介護

空モビ

サービス

経済産業省

- ・人手不足に悩む中小企業等に対して、人手不足解消に効果がある汎用製品を導入するための経費の一部を補助し、生産性向上等を図るとともに、賃上げにつなげる
- ・カタログ型であり、予め国の審査により相見積等の負担を無くし、簡易で迅速に補助金を交付
- ✓ 活用例：製造業における無人搬送車、飲食サービス業における券売機の活用

◆対象者

- ・対象製品リストから導入し、「労働生産性 年平均成長率3%向上」を目指す事業計画に取り組むもの

◆補助額

- ・1500万円以下（補助率1/2）
- ※従業員数・賃上げ条件達成可否により変動

◆スケジュール

- ・2024年6月25日～ 公募開始
- ・2024年8月9日～ 随時受付
- ※複数回の応募・交付申請可能（補助額合計が補助上限額まで）

◆WEBページ

<https://shoryokuka.smrj.go.jp/>

問合せ先

愛知県中小企業団体中央会

中小企業省力化投資補助事業コールセンター
TEL：0570-099-660
カタログ登録サポートセンター
TEL：0570-099-660



中小企業の人手不足解消に効果のある「省力化製品」を導入するための補助金

中小企業 省力化投資補助金 補助率 1/2



中小企業省力化投資補助金とは、

人手不足解消に効果があるロボットやIoTなどの製品を導入するための経費を国が補助することにより、簡易で即効性がある中小企業の省力化投資を促進し、売上拡大や生産性向上を図るとともに賃上げにつなげることを目的とした補助金です。

- 対象製品のリスト（カタログ）に登録された省力化製品から、自社の課題に合わせて製品を選択できます！
- 「販売事業者」が製品の導入を支援！申請・手続もサポートします。
- 補助率は1/2！補助上限額は従業員数ごとに異なります。



● 補助対象となる事業

人手不足の中小企業などが、省力化製品を対象製品のリスト（カタログ）から選んで導入し、販売事業者と共同で「労働生産性 年平均成長率3%向上」を目指す事業計画^{※1}に取り組むものを対象とします。

申請時に全ての従業員の賃金が最低賃金を超えていること、補助金の重複に該当しないことなどの要件^{※2}を満たす必要があります。また、補助金の交付が決定された場合でも事業実績報告の審査によって補助額の減額となる場合があります。

※1、公募要領（一）「補助対象事業の要件」を参照。
※2、公募要領（二）「補助対象事業者の要件」を参照。

● 補助率と補助上限額

従業員数	補助率	補助上限額	補助事業実施期間に一定以上の賃上げを達成した場合
5名以下	1/2	200万円	300万円に引き上げ
6～20名		500万円	750万円に引き上げ
21名以上		1,000万円	1,500万円に引き上げ

※各申請における補助額の合計が補助上限額に達するまでは、複数回の応募・交付申請が可能です。

● 補助対象製品のカテゴリ

- どんどん拡大中！
- ▶ 清掃ロボット
 - ▶ 記録ロボット
 - ▶ 自動倉庫
 - ▶ 物品・仕分システム
 - ▶ 無人搬送車（AGV・AMR）
 - ▶ スチームコンベクションオーブン
 - ▶ 券売機
 - ▶ 自動チェックイン機
 - ▶ 自動精算機
 - ▶ タブレット型給油許可システム
 - ▶ オートラベラー
 - ▶ 飲料補充ロボット
 - ▶ デジタル紙面色校正装置
 - ▶ 測量機
 - ▶ 丁合機
 - ▶ 印刷用紙高機能装置
 - ▶ 印刷用インク自動計量装置
 - ▶ 段ボール製箱機
 - ▶ 近赤外線センサー式プラスチック材質選別機
 - ▶ デジタル加飾機
 - ▶ 印刷紙面検査装置
 - ▶ 建物用自動バリア取り装置
 - ▶ 自動選別システム
 - ▶ 蛍光X線厚測定器
 - ▶ 自動断断機 など

※一部の省力化製品については、重複購入であっても交付申請可能です。

補助上限額の引き上げを適用する場合、事業終了時に①給与支給総額+6%以上かつ、②事業場内最低賃金+45円以上とする計画を策定し申請する必要があります。

※補助上限額を引き上げたが事業終了までに賃上げ未達の場合は、補助額の減額となります。

● 申請から事業完了までの流れ



※1、申請にはgBizID（アカウント）の取得が必要です。取得には一定期間を要しますので、あらかじめお手続きください。※2、中小企業のみならず、販売事業者から「一社一社（団体）（ベンチャー）」していた場合、事業計画の策定が困難な場合があります。※3、導入した製品の使用状況や効果、事業計画の達成状況を確認するためには必要となります。※4、人員数・賃金率を算出する場合は、交付決定の時点に於いての状況とします。※5、確認できない場合は、交付決定の時点に於いての状況とします。

本補助金の詳細や対象製品のリスト（カタログ）、公募要領などはこちらから
中小企業省力化投資補助事業ホームページ <https://shoryokuka.smrj.go.jp/>

お問い合わせは、本補助事業コールセンターまで
あらかじめ上記ホームページの掲載資料や「よくあるご質問」をご確認のうえ、お問い合わせください。

ナビダイヤル 0570-099-660
IP電話などからのお問い合わせ 03-4335-7595

● 受付時間：9:30～17:30／月曜～金曜（土・日・祝日除く）※通話料がかかります。お断りください。お断りの場合は、上記のホームページからお問い合わせください。

全都道府県に、インフォメーション窓口を設けています。詳しくは上記ホームページをご確認ください。

省力化製品に関わる
工業系・製造事業者・販売事業者のみならず
カタログ登録
サポートセンター
03-6746-1530
で相談受付中！

経営課題の解決に主体的に取り組む中小企業を対象に、豊富な経験と実績を持つ専門家を一定期間派遣し、アドバイスを実施します（有料・審査あり）。

活用例 ロボット導入に向けた、生産現場の改善、工程の見直し、生産管理方法の見直し等
(上記以外でも、戦略・事業計画策定、マーケティング・営業の仕組み見直し等にもご活用いただけます)

◆対象者

・上記のような経営課題の解決を図りたい中小企業

◆期間・費用等

・期間・回数：4ヵ月～10ヵ月（1～2回/月）

・費用：17,500円/回

◆ご利用までの流れ

・右図をご参照ください。下記「問合せ先」にご連絡ください。

・専門家や職員が経営者の方等とご面談を行い、課題の深堀や今後の進め方等について複数回打合わせを行います。（途中、機構内審査があります。）

◆留意点

・本事業は、経営課題に取り組むプロジェクトチームのサポートを行うものです。研修の実施、販売先等の斡旋・紹介や契約交渉・事務作業等の実務代行を行うものではありません。

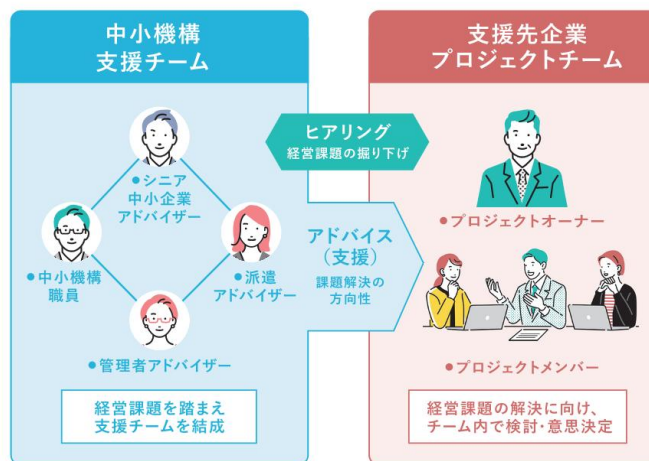
◆WEBページ

<https://www.smrj.go.jp/sme/consulting/hands-on/>

問合せ先

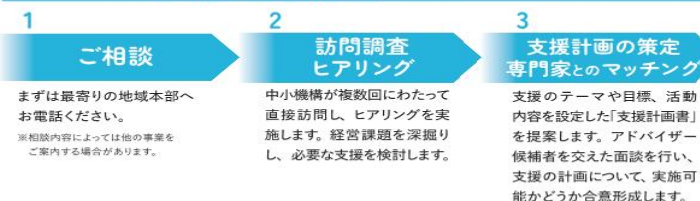
独立行政法人 中小企業基盤整備機構
中部本部 企業支援部 企業支援課
TEL：052-220-0516

ハンズオン支援体制図



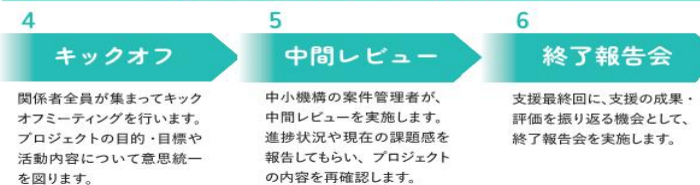
※ご利用には審査があります

事前準備期間（2～3ヵ月程度）



支援開始手続き・派遣費用のお振込み

支援実施期間（4～10ヵ月程度）



ハンズオン支援の流れ

中小機構の専門家が企業を訪問し、専門的・客観的視点による分析をとおり、生産工程の課題の把握や解決に向けた対応策をご提案する**全3回の無料診断**。

活用例：業務フローの見直し、ロボット導入の事前調査、IoT活用の効果確認等

「生産性の拡大」「業務の効率化」「生産工程の見える化」などのきっかけづくりとしてもご利用いただけます。

◆対象者

・ロボット・IoTの導入により、生産性を向上させたい中小企業・小規模事業者

◆診断内容

- ・「作業」と「情報」の視点から、専門家が生産工程の現状を分析
- ・課題の整理・可視化を行い、ロボット（自動化）・IoTの活用可能性をご提案

◆WEBページ

<https://www.smrj.go.jp/sme/digital/smart/>

問合せ先

独立行政法人

中小企業基盤整備機構

中部本部 企業支援部 企業支援課

TEL：052-220-0516



事前相談申込



【管理者・職員が担当】

- ・オンライン
- ・事業説明・ヒアリング
- ・課題に応じた専門家を選定

面談①



【現地調査】

- ・専門家、職員等が現地訪問
- ・経営者や現場責任者にヒアリング
- ・実際の作業内容や工程、帳票等を確認し現状分析

面談②



【関係者打合せ】

- ・オンライン又は現地訪問
- ・現状分析をもとに、問題点／課題を整理し可視化
- ・ロボット(自動化)・IoT導入等による解決策の検討

面談③



【診断報告会・提案】

- ・オンライン又は現地訪問
- ・生産工程の課題について、ロボット(自動化)・IoT・デジタル技術導入による解決策の提案

あいち産業振興機構は、愛知県知事指定の中小企業支援センターとして、経営の支援、人材確保の支援、取引先開拓等の支援、デジタル化・DXの支援、IT活用支援・情報提供等、県内中小企業の皆様への多様なサポートを行っています。

無料経営相談窓口（エキスパートあいち） （経営、業務管理・生産管理、技術・CN等）

- 対象者：県内事業者
- 費用：無料（出張相談可）
- 支援例：DX簡易診断、デジタル人材育成、販路開拓支援
- ホームページ：<https://www.aibsc.jp/support/257/>
- 問合せ先：052-715-3070 経営アドバイスG



あいち産業DX推進コンソーシアム （セミナー、マッチング、ワーキング、情報発信等）

- 組織体制：経済団体、金融機関、大学、行政機関といった支援機関のほか、IT企業や製造業等県内中小企業
- 活動内容：セミナー、マッチングイベント、ワーキング等の開催、情報発信等
- ホームページ：<https://www.aibsc.jp/support/15511/>
- 問合せ先：052-715-3063 情報企画G



製造業に係る取引先開拓 （輸送機器、工作・産業機械、鉄鋼等）

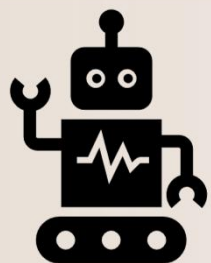
- 対象者：（発注）全国の製造業（受注）県内中小製造業
- 費用：無料
- 支援内容：商談会の開催、取引先の紹介・あっせん
- ホームページ：<https://www.aibsc.jp/support/698/>
- 問合せ先：052-715-3068 取引振興・設備G



愛知県 プロフェッショナル人材戦略拠点 （ロボット産業進出に係る人材確保支援）

- 支援内容：進出と活用導入に係る人材確保支援
- 採用プロ人材例：製造プロセスIT化（印刷事業）、ロボットの導入などの自動化・効率化（設備製造事業等）
- ホームページ：<https://www.aichi-projinzai.jp/>
- 問合せ先：052-715-3070 経営アドバイスG





産業用ロボットの教示・検査等に従事している方を対象に、労働安全衛生法第59条・同規則第36条に義務付けられた安全教育です。講習会の修了後、特別教育 修了通知書および修了証を交付します。

◆対象者

- ・産業用ロボットを導入される企業様
- ・ロボットSI検定受検予定者様など

◆実施日

- ・年6回 予定
(5月、7月、9月、11月、12月、1月)

◆WEBページ

https://www.nipc.or.jp/kougyou/p_training/index.html



産業用ロボット特別教育講習会

年間6回開催（学科2日＋実技1日） ◆ 産業用ロボットの教示・検査等に係る業務に従事する労働者全員に対して、事業者は労働安全衛生法第59条第3項に基づき、特別教育を行うことが法令で義務づけられています。

産業用ロボットを導入される企業様、新人・新任社員様向けの教育として、ロボットSI検定を受検予定の方など、ロボットを使用される方は、是非、ご受講をご検討ください。

◆学科

会場：名古屋市工業研究所 会議室

◆実技 会場及び使用するロボット機種（予定）

- ・パナソニックコネク株式会社（5、11月期）
パナソニックロボットG3、G4 シリーズ
- ・三菱電機株式会社 名古屋製作所（7、9、11月期）
三菱電機ロボットMELFA RV-2F-Q、MELFA RV-3SQ
- ・株式会社TECHNOREACH（テクノリーチ）（12月期）
ファナックロボットLRmate200iD、7L、LRmate200iB

▶ 受講料

1名：34,980円（税込、テキスト含）、33,000円（税込、テキスト無）

※テキストは、「産業用ロボットの安全必修」中央労働災害防止協会編（第4版）」を使用予定です。

講習内容

◆学科

1日目 9:10～16:45

- ・産業用ロボットに関する知識
- ・産業用ロボットの教示等の作業に関する知識

2日目 9:10～16:50

- ・産業用ロボットの教示等の作業に関する知識
- ・産業用ロボットの検査等の作業に関する知識
- ・労働安全衛生法、施行令等の関係法令

◆実技 9:30～16:30

- ・産業用ロボットの操作の方法
- ・産業用ロボットの教示等の作業の方法
- ・産業用ロボットの検査等の作業の方法

※修了通知書・修了証は、実技講習を受講終了後、交付いたします。

主催：(公財)名古屋産業振興公社

共催：名古屋商工会議所

協賛：中部金型技術振興会 (一社)愛知県溶接協会 (一社)日本ロボット工業会

中部塗装技術研究会 中部歯車懇話会 中部溶接振興会 鍍金技術研究会

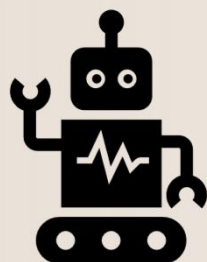
中部エレクトロニクス振興会 (一社)日本ロボットシステムインテグレーション協会 ロボット加工技術研究会

問合せ先

(公財)名古屋産業振興公社 ものづくり人材育成課

TEL:(052)654-1653

MAIL:kenshu@nipc.or.jp



工業技術に関する研修や講座を名古屋市工業研究所、業界団体等と連携して開催。主に中小企業におけるものづくり人材の育成、技術・技能の継承を支援し、向上を図ります。

◆対象者

- ・主に中小企業にお勤めのものづくり企業様

◆WEBページ

https://www.nipc.or.jp/kougyou/pdf/r07_gijutukensyu.pdf

https://www.nipc.or.jp/kougyou/pdf/r07_monodukuri_koza2.pdf

■技術者向け ものづくり人材の育成を行っています！「講義と実習」を重視した全10コース！

協力：名古屋市工業研究所

◆ メカトロ技術研修

◆ CAE技術研修



「電子回路・中級電子回路・設計・表面機能化・高分子材料・金属材料・化学分析・加工」技術研修も行っています。

■熟練技能者の指導により資格対策講座等を行っています！ 技能の継承を支援します！

◆ 3D CAD講座 協力：名古屋市立工業高等学校

◇ 鉄工（構造物鉄工作業）技能士受検対策講座 協力：（一社）愛知県溶接協会

◇ プラスチック射出成形不良対策講座 協力：（一社）中部日本プラスチック製品工業協会 愛知県プラスチック成形工業組合も行っていきます。

■ものづくり現場に必要な技術に関する研修等を行っています！

▶ 周辺視目視検査法入門 <<New>>

▶ 機械系技術者のための「エレクトロニクスの知識」研修

▶ 機械設計図面の見方・読み方研修

▶ 機械設計図面の描き方研修

▶ 現場管理者の生産管理（トヨタ生産方式）研修 ▶ 知的財産担当者養成講座

問合せ先

(公財)名古屋産業振興公社 ものづくり人材育成課

TEL:(052)654-1653

MAIL:kenshu@nipc.or.jp

問合せ先：(公財)名古屋産業振興公社 ものづくり人材育成課 ☎ (052)654-1653 ✉ kenshu@nipc.or.jp